

# 平成 29 年度 多様な新ニーズに対応する 「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン インテンシブコースセミナー

日 時: 2017 年 11 月 30 日(木) 13:00~17:00

場 所: 兵庫県立大学 明石看護キャンパス 406 演習室

テーマ: 緩和ケアにおける症状マネジメント Up to date

講演 A 消化器症状および呼吸器症状のコントロール

講 師: 安保 博文先生(国家公務員共済組合連合会六甲病院 緩和ケア内科部長)

受講者: 11 名

アンケート回収:11 名(回収率 100%)

主 催: 兵庫県立大学看護学研究科 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン代表 内布敦子

## <概要>

「緩和ケアにおける症状マネジメント Up to date」と題して、安保 博文先生(国家公務員共済組合連合会六甲病院 緩和ケア内科部長)より、講演 A/Bとして、緩和ケアの症状マネジメントについて二回に分けての講演となります。

講演 A では、消化器症状や呼吸器症状のコントロールについて、ご自身の経験に基づく具体的な事例や日頃先生が抱えておられる思い、さらには参加者からの疑問や質問を交えてお話をお伺いすることができました。

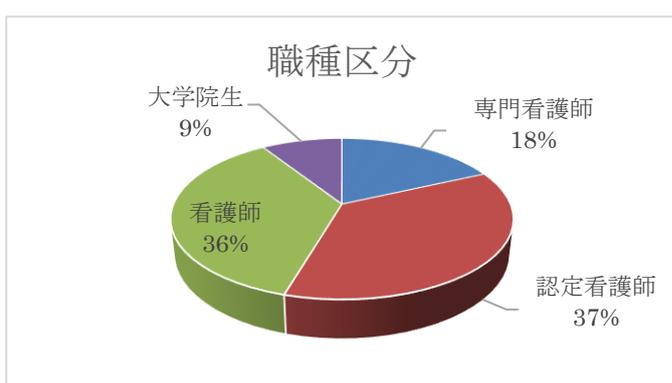
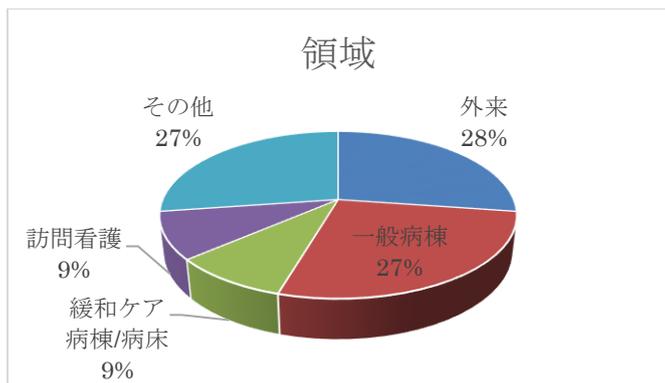
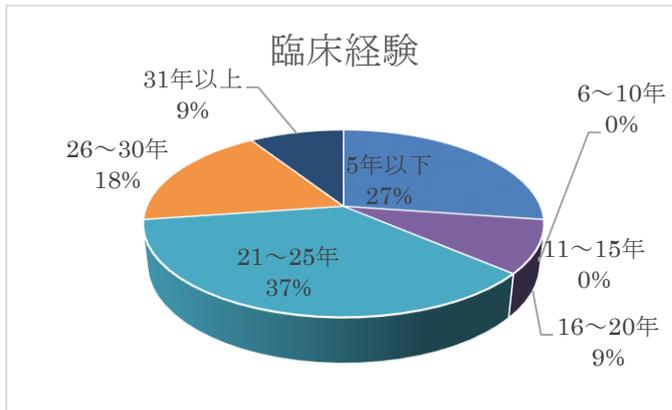
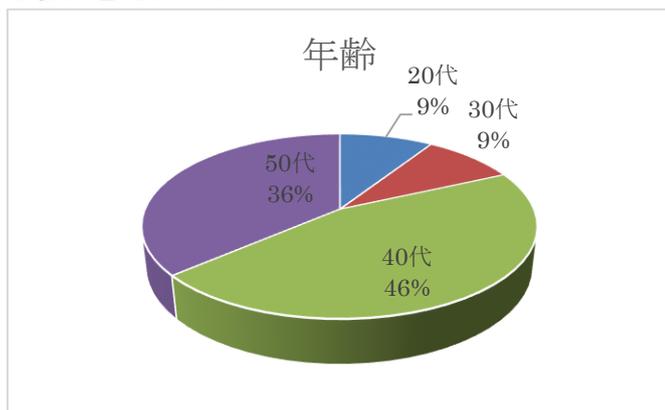
がん看護専門の方だけでなく、在宅看護などをされていらっしゃる方など幅広い領域の方からのご参加があり、参加者からの質問に対する安保先生のお話も非常に有用なもので、参加者全員の方から、本セミナーについて「非常に役に立つと思う」というお話をいただくこともできました。

次回の講演 B は倦怠感、精神神経症状のコントロール、苦痛緩和のための沈静、緩和ケアのためのコミュニケーション技術についてお話をお伺いする予定です。



## <アンケート結果>

### ●参加者について



●参加者からのコメントより

年齢	領域	職業区分
40代	緩和ケア病棟/病床	看護師
感想	現場に合った内容の講義だったのでとてもわかりやすかった。嘔気に対する対策がとてもわかりやすかった。ケアもしている病棟なので、今後、何が原因での嘔気かきちんとアセスメントしていきたい。	

年齢	領域	職業区分
40代	その他	認定看護師
感想	薬剤の使用方法やケアについて具体的な内容であり実践に役立つ研修会でした。質問についてもエビデンスに基づき安部先生のご経験も踏まえたお話で明日から実践してみようと思う内容が多くありました。ありがとうございました。	
課題	意思決定のタイミングをのがさずして支援していくこと	

年齢	領域	職業区分
20代	一般病棟	看護師
感想	本日の講義のようなことを知らない人が多く、実践しようにも説明しても聞き入れられないことが多い。自分自身の経験も少なく説得力がない。院内全体で勉強会などもっとあれば知る機会も増えるのかなと感じている。	

年齢	領域	職業区分
50代	外来	認定看護師
感想	PCT 介入中、患者さん、家族へのケアに非常に有用なセミナーでした。明日からすぐに活用でき、CNとしてはNsに対する相談や実践を通してNsの教育ができる内容でした。次回も大変楽しみです。	
課題	Nsへの教育をどうするべきか。加算の取れるシートや看護必要度でNsの実践ケアが低下していると考える。	

年齢	領域	職業区分
40代	外来	専門看護師
感想	臨床ですぐでも活かしたいと思えることばかりでした。	
課題	化学療法中の患者への緩和ケアとの両立(進行がんPTへの)	

年齢	領域	職業区分
40代	訪問看護	大学院生
感想	大変勉強になりました。	
課題	ケアの知識、薬の知識、どちらも大切なのがよくわかりました。現場ではどちらも十分ではない。	

年齢	領域	職業区分
30代	一般病棟	看護師
感想	講義内容から学ぶことは多く、消化器症状に対する薬物療法は、自宅でも改めて復習し、実践に活かしていきたいと思いました。事例や参加者の方々の事例に対して、どうすればベストかというお話や、海外の研究なども交えてお話していただき、大変貴重な講義を受けることができました。	
課題	がん看護を学びだしたばかりで、知識を得ている最中です。セデーションについても学びたいと思います。	

●今後セミナーで取り上げてほしいテーマ

- ・非がん患者さんの緩和ケアについて
- ・在宅支援について。在宅緩和、連携
- ・地域連携(/病院-病院/病院-在宅医/病院-緩和ケア病棟)などの調整について
- ・ケアに焦点を当てた内容
- ・がん症状と漢方薬の効果